

# 巡航節

作詞：不詳  
作曲：不詳

(♩=100~110)

1. ゆー き を あ ざ む く しーろ じ の じーぎょうふー

く むねのマークは ヨーイちの もじよ

巡航節

巡航節

作詞 不詳  
作曲 不詳

- 一、雪をあげむく白地の事業服  
胸のマークはヨ一の文字よ
- 二、帽子目深に月の眉かくして  
笑を含んでヨ一「チルラー」とるよ
- 三、おもて離せや「フエンダー」入れるよ  
面舵取舵ヨ一「ジャコブ」へ
- 四、「カッター」は出て行く「ポンド」は暮れるよ  
沖の鷗とヨ一「セイリング」よ
- 五、カッターは出て行く湾口の本松  
指して行く手はヨ一宮島よ
- 六、娘さんよく聞け生徒さんの好物は  
娑婆の便りにヨ一酒保羊羹よ
- 七、娘さんよく聞け生徒さんに惚れるな  
沖でドンと鳴りやヨ一若後家よ
- 八、吹くや春風「ヨット」が走るよ  
上手廻しもヨ一あざやかによ
- 九、吹くな春風散らすな桜よ  
せめて考查のヨ一終るまでよ
- 十、考查終れば休暇も近いよ  
水泳訓練ヨ一何のそのよ
- 十一、今日も天測見上げる空によ  
泣いたあの夜のヨ一星がとぶよ
- 十二、巡検用意のラッパを聞けばよ  
そゞろ故郷がヨ一惚ばれるよ
- 十三、巡検過ぎれば昨日の続きよ  
夢の中ではヨ一俺一人よ
- 十四、巡検終ればベットの夢路よ  
笑ったあの娘のヨ一片えくぼよ
- 十五、あの鼻廻れば生徒館が見えるよ  
赤い煉瓦にやヨ一鬼が住むよ